

令和4年度生野区区政会議(第1回くらしの安全・安心部会)

主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

資料2

開催日:令和4年5月31日(火)

場所:生野区役所6階 大会議室

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|---|--|
| <p>役を担っている方々が固定化されると中身が変わっていかないので、いろんな方に関わっていただきながら、しっかり防災防犯の取組みというのは実行していくべき。</p> | <p>各地域における自主防災組織と連携し、引き続き取り組んでまいります。</p> |
| <p>コロナ禍の影響で防災訓練ができていないので、学校の統廃合で、以前の防災マップにある学校を使用できないのが一番の問題。</p> | <p>避難計画などが記載されている地区防災計画を、地域・区で見直しをすすめており、今後、計画に合わせて防災訓練を実施してまいります。</p> |
| <p>少なからず年に数回は、消防、区役所、行政の協力を得て、防災訓練を実施していくべき。</p> | <p>各地域での防災訓練に合わせ、消防による実技指導を行っていくほか、防災リーダーへの研修・訓練など、様々な訓練を実施してまいります。</p> |
| <p>外国人の方が、災害で避難したときに避難所で多言語化された説明などが必要。</p> | <p>外国人被災者への対応等について(公財)大阪国際交流センターと連携し、多言語指さしボード等を避難所で活用するほか、区で所有するipadを活用した翻訳支援を行うこと等を想定しております。</p> |
| <p>防災マップが、4・5年前のものになり、当時は、外国籍の方々、いわゆる言葉の通じない方々のことまで考えていなかったように思う。今後の課題だと思ふ。</p> | <p>防災マップの再作成の際にはピクトグラムを活用や多言語化も含めて検討してまいります。</p> |
| <p>高齢者の方の世帯に、いろんな方が来られるので詐欺グループだったり、電話に出てオレオレ詐欺の被害にあわれる方も多いため、危ない。</p> | <p>啓発物品として「振り込め詐欺防止手形電話機用POP」(電話機に取り付ける啓発物品)を作成しており、地域包括支援センターやケアマネジャー等に配布し、あわせて電話機に取り付けて啓発を行っていただくようにしております。</p> |
| <p>自転車の乗り方や道の歩き方のマナーが悪いので危ない。</p> | <p>地域や生野警察署と連携し、啓発に取り組んでまいります。</p> |
| <p>独居老人の方をサポートしづらい体制だったり、耳が遠くなってインターホンが聞こえなかったり、電話が鳴っても気づかない世帯があるので、うちの中でパトランプなどが光って、インターホンが鳴ってるよとか、電話が鳴ってるよって言う仕組みが良い。</p> | <p>ご提案いただきました、音が聞きづらくなった高齢者の方を対象にした仕組みについては、具体的な仕組みとしてはございませんが、国の障害者福祉事業として、聴覚障がい2級の方を対象とした「聴覚障害者用屋内信号装置」の給付事業は行われています。独居されている高齢者の方へのサポートは、地域福祉の観点からも大切なことと認識しております。いただいたご意見については関係局にお伝えさせていただきます。</p> |

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|---|---|
| <p>町会に未加入の方々がいたり、集合住宅ができて管理会社のオーナーを通じてでないとい何もできないという世帯があり困っている。</p> | <p>町会への加入を促進するために、地域特性を踏まえた対策が必要であると考えており、地域の取り組みなどへの周知方法、参加促進を踏まえて地域とのつながりの重要性を啓発してまいります。</p> |
| <p>高齢者の一人住まいの健康状態、生活状態の確認、安否確認は、町会老人部の協力をもってこそ成せるのではないか。</p> | <p>区内には19の地域社会福祉協議会があり、ふれあい喫茶、食事サービス、ふれあいサロン活動等、高齢者の方々の健康増進や生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げるための活動にご尽力をいただいているところです。引き続き各町会での見守り活動もお願いいたします。</p> |
| <p>コロナ禍で100歳体操等の行事ができないので、ご近所の老人の方々の健康状態が心配である</p> | <p>100歳体操等地域における高齢者が集う事業につきましては、感染対策をとったうえで順次再開が図られているところです。今後も実施の工夫による事業継続、関係機関との連携の上、閉じこもり予防、介護予防の場の確保に努めてまいります。</p> |
| <p>外国人で漢字と平仮名が読めない人が増えている中、回覧板を読むことが出来ない世帯が増えてきている。何かできたらいいかなということもありますが、町会にゆだねられるとできる人がいないので負担になる。</p> | <p>生野区では、増加する外国人住民の方にも伝わるよう多言語や「やさしい日本語」による情報発信に心がけております。 各まち協にお願いしております回覧板につきましても、「やさしい日本語」などを活用し簡潔でわかりやすい文書となるよう努めてまいります。</p> |
| <p>外国籍の労働者・学生の住民がかなり増えてきています。東南アジア系の人々の増加や住宅を購入される外国人の方も少しずつ増えてきています。朝鮮・韓国の方だけでなく、他の文化圏の方も混じってきているので、コミュニケーションに困ったり、生活文化の違いに私たちが馴染むこともできずに困っている。また、この二年間、そういった方々と一緒に地域を交えて参加してもらおう行事などができていない。コミュニケーションがとれる取り組みを地域でもしたい。 他にも、異東にある大阪わかば高校、いわゆる外国にルーツのある学生さんを受け入れる二部制の高校との連携が必要。</p> | <p>生野区には60か国に近い外国籍住民が暮らししており、お互いの文化や生活を理解、尊重することで、誰もが安心を身近に感じて暮らせるものと考えております。 引き続き、多文化の共生できるよう交流の機会や情報の発信を行ってまいります。 また、区内の高等学校とも連携を進めており、様々な形で「つながり」コミュニティの創出に努めてまいります。</p> |

令和4年度生野区区政会議(第1回こどもの未来部会)
 主なご意見等(要約)と区のお考え方、対応

開催日:令和4年6月1日(水)

場所:生野区役所6階 大会議室

| ご提言(要約) | 区のお考え方、対応(要約) |
|--|--|
| <p>いくの未来塾の受講者(子ども)に直接アンケートを取っているか。また、アンケートに子どもたちの意向が何か書かれていたか。(子どもたちの意見があれば)それを踏まえたうえで、どういった事業を展開していくのが一番だと思うので、ぜひ子どもの意見を大切にしていきたい。</p> | <p>塾事業及び生きるチカラまなびサポート事業につきましては、受講生に実施前後のアンケートを取っています。その中の感想等の自由記述を含め、アンケート結果につきましては、事業展開の参考にしています。</p> |
| <p>次世代の学校づくりのテーマについては、生野区はずっと「未来を生き抜く」より「未来を生き合う」ための力の育成を目指してきたのではないかと感じている。こどもの未来を考える部会なので、丁寧に子どもの声を確認してもいいと思う。</p> | |
| <p>子ども食堂をやっていたが、親の居場所にもなっていた。不登校になっている子どもを地域で関わる大人が支援するのは、なかなか難しい。子どもたちがもっと楽しく学校に行けるようになるために、地域の大人もカウンセリングなど相談するところが欲しい。</p> | <p>不登校等によるこどもの孤立化を防ぐために、地域の大人による関わり方を学ぶ勉強会や講演会等、場と機会を検討してまいります。</p> |
| <p>学校再編によって、通学距離が延びてしまった小・中学校は、PTAや町会など、各組織の線引きがあるので、通学路全体を見守りに行くことができない。 地域がまたがることで通学の見守りが難しくなった。地域で見守りしてくださる方の高齢化も進んでいる。通学の安全については、危ない箇所をもう一度見直して何かできる手段をとっていただきたい。 組織が分断されていることについては、どこに相談しながらまとめていくのが一番いいのかという仕組みをどこかがイニシアティブをとって設けてほしい。</p> | <p>令和3年度には文部科学省からの通知に基づき全小学校で通学路の安全点検を行っておりますが、再編のあった学校については4月以降実際に通学して実際に判明した事項もあると思われるため、「大阪市通学路安全プログラム」について今年度に優先的に実施することを検討しております。</p> |

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|--|---|
| <p>こどもの見守りは防犯協会が生活のついでに見守ることがスタートになっている。小学校のPTA、中学校のPTA、防犯協会、みんなまちづくり協議会に入っているはずなので、まずはまちづくり協議会でしっかり話してもらって、それを行政にあげていく方が、順番としてはスムーズに進むと思う。新しい学校では、PTAの中に通学路の安全を常置委員会として置かれている学校もあるとのこと。行政の方から、ボランティア保険や、皆さんが動きやすいような組織、新しい組織、地域に合わせたやり方について指導というか、声をかけてもらいたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各組織でのこどもの見守り活動の実態やまちづくり協議会との関わりを把握し、検討してまいります。 ・いくつかのまちづくり協議会においては、通学路の見守り活動をまちづくり協議会の事業として設定し、「大阪市市民活動保険」にご加入いただいております。他の地域においても、通学路の見守り活動をまちづくり協議会の事業としていただくことで、「大阪市市民活動保険」の対象とすることができまので、情報提供してまいります。 |
| <p>校区が広がったので、通学する時間が早くなった。今まで通りの時間ではなくて、一番忙しい時間に見守りをお願いしなければならない。ボランティアでは少し難しいので、学校再編した行政が見守り隊を出してほしい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路における児童生徒の安全確保につきましては、地域や保護者の方からなる学校適正配置検討会議において保護者、地域住民の方と議論し、開校までに対策を行ってまいりました。各地域の見守り隊につきましても、検討会議の議論の中で引き続き活動していただくようお願いし、ご協力いただいているところです。 ・今後、行政としましても学校と連携し、見守り体制の一層の強化に繋がるようなことについて検討してまいりたいと考えています。 |
| <p>学校再編に伴う課題について、行政は最初の声かけだけして、何かあれば言ってくださいというが、それぞれの実情を聞きに来て一緒に考えてほしい。最初に予想していたことと、始めてみたら違うということがあるので、やはり振返って確認することが大事だと思う。通学路のことも、子どもの意見はどうだったのか。再編後に学校が始まってから、新たに生まれた課題もあるので、振返って話せるような場を作っていただきたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校では、保護者や地域住民の方などの意向を学校運営に反映するため「学校協議会」を定期的に開催しています。ご意見等があればこの協議会でお伺いしていきます。 ・なお、再編により新たに開校した学校とは、引き続き連携を密にとり、支援してまいります。 |

令和4年度生野区区政会議(第1回まちの未来部会)
 いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和4年6月2日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|---|---|
| <p>ものづくり、中小企業のまち、銭湯の文化と生野区が先陣を切って広がってきたが、いまは廃れてきた。ものづくり工場などで面白いところをPRして、伝統が途絶えないように上手くアプローチして歴史をつないでいくことが必要。 民間のアクションが増えるといい。区は大きな視点で取り組んでいるので、まちに住んでいる人たちがまちを一番理解しているし、まちの魅力を引き出せて、まちが変わると思う。</p> | <p>ものづくり、中小企業のまちであることについては、「ものづくり百景」のPRを、オンデマンドバスのキャッチボールイベントなどイベントの折に実施しております。今後も、折を見つけてPRに努めるとともに、デジタルブック版の活用や様々な団体との連携を通じて広報機会の拡大に努めるなど、これまで以上に周知方法の拡充に努めてまいります。</p> |
| <p>事業所は跡継ぎがなく、古くからやっているのがカッコよさがはないが、残すべきところは残して、アップデートすべきところはアップデートして伝統を紡ぐというところを最優先に置いたとき、県外の人たちに面白いまちだよっていうPRをしていくべきだと思う。</p> | <p>「ものづくり百景」デジタルブック版を活用するなど、ものづくりのまち生野の魅力を広く周知・啓発に努めてまいります。</p> |
| <p>生野区には非営利活動団体がたくさんある。そうした団体と工業をつないでもらって、コラボで何かをするために、区には間を取り持って欲しい。ものづくりのさらにもう一つ上に進む何か面白いものができると思う。</p> | <p>当区では、持続可能なまちづくり活動支援事業として、課題解決のため企業・NPO・市民団体などが取り組まれるまちづくり活動を支援してまいりましたが、今後はそういった活動主体の広報を通じて連携を促し、相談があった際には適切に連携が進むように努めてまいります。</p> |
| <p>多世代教育や多世代交流、共に学ぶ教育といったコンセプトでアンテナ的な場所を作って、生野区だけじゃなく、いろんな地域から人が集まって、その人たちと生野区を俯瞰で見て、面白い部分にアプローチできたらいいと思う。</p> | <p>区内で活動するさまざまな団体活動と連携協力しながら、「生野の魅力」を伝え、人が集まり、にぎわいを創出するような取組を今後も続けて実施してまいります。</p> |
| <p>不動産の所有者が三世代くらい経っていて、生野に住んでいないことや貸すのにお金がかかるから難しいなど、自分の中にハードルがあって、使いたい人になかなかバトンが渡せないでいる状況にある。</p> | <p>不動産所有者の方々への空き家・空きスペースの活用について、当区の取り組みを広報し、適宜相談にのるなど利活用の促進に努めてまいります。</p> |
| <p>空き家や空き店舗は、貸す側は4~5万円で貸すが、借りる側は3万円なら借りる。でもそこまで安いと貸さないってなる。だから空き店舗がたくさんある。 空き家問題は、政府の税制の問題である。更地にしたら税金が高くなって、空き家のままなら税金がかからないのがおかしい。だから空き家のままになる。</p> | <p>公民連携により、これまでも空き家の利活用についての取り組みを進めてきましたが、貸す側つまり所有者の方々とは借り手を繋ぐ方策について今後も検討を進め、施策を進めてまいります。</p> |

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|---|--|
| <p>土地の価値よりも解体費用の方が高いからほったらかしなる。政府や大阪市が買い取るなどすればいい。</p> | <p>空家については本来所有者等が適切な維持・管理をする責任を負っているものでありますため、公費による買い取りをすることは、適正に解体するなど管理されている所有者との不公平感の観点からも現状難しいものと考えております。また、空家の解体補助制度がございますので、区役所にご相談いただければと考えております。</p> |
| <p>近所のお年寄り、オンデマンドバスの使い方もわからない。何なのかもわからないという人もいる。そうした声をどういう風に反映してどう評価しているのか。 ちゃんと基準を設けて、こういうことがあって、使い勝手が良くてみんなにどれだけ浸透しているかというところまで評価しないとイケない。</p> | <p>オンデマンドバスの活用方法については、地域のスマホ教室などを通じて啓発に努めておりますが、その中でいただいた声や使用頻度などを踏まえてオンデマンドバスの社会実験の実施主体である大阪メトロと連携して、理解度促進に努めてまいります。</p> |
| <p>オンデマンドバスのことを、各種団体の人は知っているが、周りの一般の方にまで、広まっていない。オンデマンドバスを上本町まで延ばすと利用すると思う。 生野区の南北や東西での交流がないと浸透しないと思う。生野区のことを勉強しようみたいな区民レクリエーションやまち歩きなどの企画があれば東西南北で交流が広がって、オンデマンドバスの利用も広がると思う。</p> | <p>区域外への運行エリアの拡大については、大阪メトロに要望いたします。また、ご指摘いただいたオンデマンドバスの利用を前提とした企画についても、大阪メトロと連携し、検討してまいります。</p> |
| <p>オンデマンドバスは、スマホを使いこなす若者の利用は増えるだろう。ただ、停留所を増やす必要がある。また、朝夕の通勤通学の時間帯に2・3台しかオンデマンドバスは走っていないので、使いにくい時間帯があり、それでは使えない。</p> | <p>区の方に寄せられた乗降場所の追加の提案は、大阪メトロに要望いたします。また、予約が取りにくい時間帯の改善につきましても大阪メトロに要望してまいります。</p> |
| <p>オンデマンドバスは、クールで賢いけれども面白くない。バスを動物の形にするとか停留所の色をもっとわかりやすい色にするとか、ストーリーのよなものが必要で、それなしにテクノロジーを持ち込んでも上手くいかない。</p> | <p>いただいたご提案を大阪メトロにお伝えいたします。</p> |
| <p>疎開道路や御幸森商店街などは新しいお店ができるが、経営だけで住んでいないので、地元の人たちとの接点作りが難しく、町会費を払わないといった問題も聞く。また、地元のいろんなイベントや夏祭りにも関わってこない。他にも、疎開道路にあるニューカマーのお店のごみ問題もある。人が来てにぎわっていて、未来につながっているように見えるが、地元にはいろいろと解決しないといけない問題がある。そのあたりを何とかできたら、もう少し垣根が崩れるかなと思う。</p> | <p>町会の加入については、地域特性を踏まえた対策が必要であると考えており、地域の取り組みなどへの周知方法、参加促進を踏まえたうえで地域とのつながりの重要性を啓発してまいります。</p> |

| ご提言(要約) | 区の考え方、対応(要約) |
|---|--|
| <p>近所の商店街は、シャッターのしまった店舗が多かったが、この1年でアジア食材の店や料理店などが増えた。近所のスーパーでも外国籍の方が急増した感じがして、地域でも驚いている。</p> <p>経営課題3でも外国人住民の急増とあるが、区役所が、うまく既存住民との橋渡しをすることで、まちの盛り上がりにつながるのではないかと感じている。</p> <p>地域としても、仲良くしたら、もっと交流の機会が増えてとても楽しいだろうと思っているが、やり方がわからない。</p> | <p>生野区には60か国に近い外国籍住民が暮らししており、お互いの文化や生活を理解、尊重することで、誰もが安心を身近に感じて暮らせるものと考えております。</p> <p>引き続き、多文化の共生できるよう交流の機会や情報の発信を行い、誰もが居場所と持ち場のあるまち、安全安心の担保されたまちを目指して取り組んでまいります。</p> |
| <p>外国人が多くても、コミュニケーションが取れなかったら、そこに住みたくないという人もでてくる。それでは、生野区は西区や天王寺区のように住みたい住み続けたいまちにはならない。どういう未来像を描いているのかと思っている。</p> | <p>生野区では、生野のまちが子育て世代に選ばれ、若者が活躍でき、そして区民が誇りに思えるまちをめざしております。</p> <p>そのため、生野区の取組を進めていくにあたり、生野のまちが多様性を受け入れ包み込む、懐の深い魅力あるまちであるという認識に立つとともに、それら区の魅力・特色を区の内外に向けて効果的に情報発信し、区に訪れ、住んでもらえるようなシティプロモーションを引き続き行ってまいります。</p> |
| <p>生野区は障がいのある方がとてもたくさん住んでいる。インクルーシブ教育に生野区の学校は頑張っていて、障がいのある子を持つ親にとっても魅力的である。障がいのある子が地元の学校に通って過ごしているのは、すごい魅力で、アピールポイントだと思う。運営方針にインクルーシブなまちについても盛り込んでほしい。</p> | <p>生野区では、生野のまちが子育て世代に選ばれ、若者が活躍でき、そして区民が誇りに思えるまちをめざしております。</p> <p>そのため、生野区の取組を進めていくにあたり、生野のまちが多様性を受け入れ包み込む、懐の深い魅力あるまちであるという認識に立つとともに、それら区の魅力・特色を区の内外に向けて効果的に情報発信し、区に訪れ、住んでもらえるようなシティプロモーションを引き続き行ってまいります。</p> |